

ある。

この国がのっている島は、海嶺の山頂がたまたま海の上に顔を出した島なのだ。つまり、高さが六〇〇〇メートルもある高山のつぺんだけが島になっているともいえる。

このように海嶺が頭を出して島になっている例は、世界でもそれほど多くはない。この国のほか、ポルトガルのはるか西の大西洋にあるアズレス諸島や、ノルウエーの西北の北大西洋にあるヤン・マイアン島などで、そのどれもが絶海の孤島である。

⁴この海嶺が陸上にあるふつうの山脈とちがうことは、海底にあって、陸上の山脈よりも長いということだけではない。

じつは海嶺は、陸上にあるアルプス山脈やロッキー山脈やアンデス山脈とはちがって、全部が火山ばかりなのである。世界の火山の八〇パーセント以上は海嶺にある。それほど海嶺には火山が多いのである。日本やフィリピンやインドネシアやメキシコなど、陸上にある火山も多いが、それでも数からいえばのこりの二〇パーセントにすぎない。

この国には地熱が豊富で発電にも温泉にも使えるのは、つまり **E** の島だからなのである。

〔島村英紀 地震と火山の島国〕より

*1 この小さな国 …………… アイスランドのこと。

*2 絶海の孤島 …………… 陸地から遠く離れ、一つだけ浮いている島。

*3 艇 …………… 小型の船。

問一 空欄 **A** **D** に当てはまる最もふさわしい語を次の中からそれぞれ選んで記号で答えなさい。

ア つまり イ もし ウ しかし エ やはり

問二 ——— 線部1 「漁船が魚をとるためく穴があいてしまったことがある」とありますが、なぜ穴があいてしまったのですか。答えなさい。

問三 ——— 線部2 「兄弟分の島」とは何のことですか。本文から五字以内で抜き出して書きなさい。

問四 ——— 線部3 「この海底の大山脈を見ることは、誰にもできないのだ」とありますが、どうしてできないのですか。本文中のことばを使って説明しなさい。

問五 ——— 線部4 「この海嶺が陸上にあるふつうの山脈とちがうこと」とありますが、それはどのようなことですか。本文で述べられていることを二つ書きなさい。

問六 空欄 **E** に当てはまる語句を二字で答えなさい。

問七 次の各文のうち、本文の内容に当てはまるものには「○」を、当てはまらないものには「×」を付けなさい。

ア 海嶺はとても長く、その中には一万キロをこえるものもある。

イ この島がのっている海嶺は北極海から南極海近くまで続いている。

ウ 地球上にある海嶺は八〇パーセント以上は火山でできている。

エ 日本をはじめ、世界の温泉地のほとんどは海嶺の上にある。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

茂の話では、今夜は鯛を狙うという。いまが産卵期なので浅瀬に移動してくるうえ、なによりも値が張るから一発当たれば大きいというのだ。ただし、浅瀬といっても百メートル以上針をおろす。餌は茂が昼のあいだに捕った小海老。針は本針と孫針二本がセットになっている。これを一旦海底まで落とし、そのあと数メートル上げて、あとは手でしゃくりながら脈を取る釣りだ。単調で、面白くもなんともない、ひたすら同じことを繰り返すだけだった。三十分以上やったがなんの当たりもなかった。茂が場所を変えてみようという出した。その口ぶりから、茂がまだすこしもあきらめていないことがわかった。清司は自分を相当我慢強い性格だと思っていた

が、釣りに関しては茂のほうがはるかに上だった。

「今夜の茂、おれよりだいぶおと²なや」

「そんな恥ずかしいこと、いわんといってくれ。慣れとるだけや。清^{きよ}つさあだつて余裕^{ゆづ}しゃくしゃくやんか」

「はじめに考えてたより、おもしろいかもしれんとは思いはじめてるけどね。魚さえおつたら、漁師もええ商売かもしれん」

「そらまちがいない。こんな気楽な商売ないでえ。その日暮^ぐらしてええんやからね。こんな話を聞いたことあるか。ご一新^{いっしん}のころの話やけど。ご一新^{いっしん}というのは、明治になったときのことやけどね。それまで自分らの村に縛^{しば}りつけられていた漁師も、これからはどこで商売してもかまわんいうことになった。そらありがたいやないかというんで、この近くの漁師らしいんやけど、仲のええふたりが、ひとつ船に乗って旅に出たんだそう^{※1}な。紀州^{きしゅう}から瀬戸内海^{せとないかい}へ入り、西^{にし}へと行きながら、着いた先々で釣った魚を売って旅をつづけた。

西^{にし}へ西^{にし}へどんどん行ってるうち、気がつく^{※2}と下関^{しもつけ}まで来てしもうた。これからどないしよう、もつと行ってみよやないか、いうんで今度は玄界灘^{げんかいなだ}を渡^{わた}って釜山^{ふさん}まで行^{※3}った。それからまだどんどん西^{にし}へ行^{※4}って、黄海^{くわんかい}を渡^{わた}り、とうとう上海^{しやんхай}へ着^{※5}いてしもうた。こ^{※6}うなつたらいつそ天竺^{てんてく}まで行^{※6}ってみよやないかいうんで、インドまで行くつもりになってたところ、そらむりや、台湾海峡^{たいわんかい}は時化^{ときけ}るさかい、こんな小さな船ではとても渡れんいわれて、やむなく止めた^やそう^{※6}な。そしてまたおんなじコースを通って帰ってきたそうやけど、そういう時代が、ほんのこないだまで、ほんまにあつたそうや」

「へー、その人らに外国ゆう考えはなかつたんかなあ」

「なかつたんやろねえ。だいたい国^{くに}いう考えそのものが、なかつたんちゃうか。漁師やから魚を釣る。その魚を買ってくれる人がおるから、その金でめしが食える。旅がつづけられる。言葉がわからんでも、全然困^{こま}らん理屈^{りくつ}や」

「A」
「けどこれは、おとうがしてくれた話^わやから、どこまでほんとか、わからへんねん。おとうもじつちゃんから聞いた言うてた。じつちゃんいう人が、若い^{わか}ころはけつこう極道^{ごくどう}で、家飛びだしては、ふらつとお伊勢^{いせ}さん行^{※8}ったり、金比羅^{こんひら}さんへ行^{※9}ったり、好き勝手なことをした人だったそうや。一回出てい^いつたら、一か月は帰^{かえ}って来^きんそうや^いつたから、残^{のこ}された家族^{かぞ}はええ迷惑^{めいわく}やで。けどおとうの時代には、もうそんな自由^{じゆう}はなくなつてた。それ³がおとうは悔^くしい^いうてたまらんかつたみたいやね。若いころは外国航路^{こくごうかうろ}の船員^{せんいん}になり^いとうて、二回も家出^{いせ}しては連れ戻^{もど}されてるそうやから」

いきなりだった。なんの前触^{まへふ}れもなく、手首^{てすね}に鋭^{すま}い電流^{でんりゅう}が走^はつたかと思^{おも}うと、強い力で一気に数十センチ引き込まれた。清司は思わずおーっという叫^{さけ}び声^{こゑ}をあげた。

「B」
「C」

茂が飛んできた。

「うわ、ごっごっごい引きやな。こりや大物^{おほぶつ}や。両手^{りやうて}でどんどん手繰^{たぐる}つたらええ。糸はどうなつてもかまわんさかい。絶対ゆるめたらあかんで」

「D」

「負けたらあかん。魚との一騎討^{いきう}ちやねん。手伝^{てでん}うたら値打^{ぢうち}ちないやろ。ひとりで頑張^{がんぢやう}り」
息もつがず糸を上げた。たまらなく長い時間^{じかん}だった。引けども引けども果^はてがなかつた。口のなか^{くち}が粘^{ねば}つてきた。茂は口^{くち}で励^{はげ}ますだけ⁴で、手を出さ^でない。助けを求^{もと}める声^{こゑ}が喉^{のど}のところまで出^でかかつて、思^{おも}いとどまった。これまで覚^{おぼ}えたことのない闘志^{とうし}がわき上がってきた。するとなにも考えなくなつた。清司は糸を引^ひくことに没入^{ぼつにゅう}^{※10}した。

手心^{てしん}えが急^いになくなつた。力が空回^{からかえり}りして躰^{かた}が後^{あと}へひっくり返^{かえ}りそうになり、一瞬^{しゆん}逃^にげられたかと思^{おも}つた。E 茂^{しげ}が身をひるがえ¹¹しても網^{あみ}を差^さしだしている姿^{すがた}が目^めに入^いつた。海面^{うみ}に白いものが浮^うき上が^あつていた。茂の網^{あみ}がそれをすくい上げた。

「すごい、すごい。見て見て、清^{きよ}つさあ、大物^{おほぶつ}やでえ。こんなん、何年^{なんねん}も見たことない。あんた、ほんま、筋^{すぢ}がええ。本職^{ほんしやく}の漁師^{いし}顔^{かほ}負けや。いや、恐れ入^{おそ}り入^いつた。天才^{てんさい}や」

国 語 (解 答 用 紙)

受 験 番 号

名 前

〔 注 意 〕 ※ 印 の と こ ろ は 何 も 書 か な い こ と 。

字 数 が 決 め ら れ て い る も の は 「 〃 」 や 「 〃 」 。 「 〃 」 記 号 も 一 字 と し ま す 。

※

一	
⑥	①
⑦	②
めて	
⑧	③
られた	
⑨	④
⑩	⑤
えて	

二						
問七	問六	問五		問四	問三	問二
ア		・	・			A
イ						B
ウ						C
エ						D

三								
問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
					A			
					B			
					C			
					D			

※

算数（その1）

受験番号		名前	
------	--	----	--

- 注意 ① 3枚の用紙とも受験番号と名前を記入しなさい。
 ② 答えは指定された所を書きなさい。
 考える途中で書いたメモ、図、計算式などは残しておきなさい。
 ③ 必要ならば、円周率は3.14を使いなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

① $8 \times 7 - 9$

② $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

答 _____

答 _____

③ $1.2 \times 3 + 9.6 \div 4$

④ $\frac{5}{8} \times 1\frac{2}{3} \div \frac{5}{6}$

答 _____

答 _____

(2) $12 + \square \div \frac{3}{5} = 37$ の \square にあてはまる数を求めなさい。

答 _____

(3) ある学校では全校生徒350人の52%が女子です。女子の人数を求めなさい。

答 _____ 人

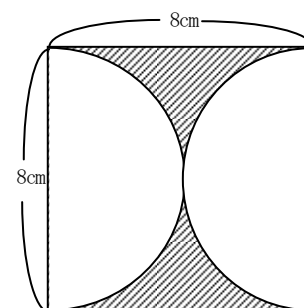
(4) あるクラスは女子と男子合わせて39人で、女子は男子より5人多い。このクラスの女子の人数を求めなさい。

答 _____ 人

(5) 定価3500円のTシャツを3割引きで売ったときの値段はいくらですか。

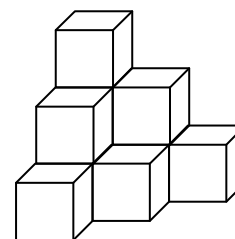
答 _____ 円

(6) 下の図の、斜線の部分の面積を求めなさい。



答 _____ cm^2

(7) 下の図のように1辺の長さが2cmの立方体を机の上に積み重ねました。体積を求めなさい。

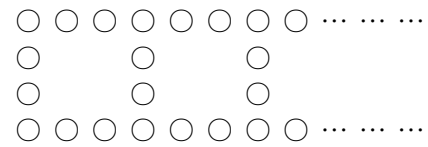


答 _____ cm^3

算数（その2）

受験番号		名前	
------	--	----	--

2 下の図のように小石を並べて正方形を作っていきます。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 正方形を1個作るのに必要な小石の数は何個ですか。

答 _____ 個

(2) 正方形を3個作るのに必要な小石の数は何個ですか。

答 _____ 個

(3) 小石60個で正方形はいくつ作れますか。

答 _____ 個

3 国語・算数・理科・社会の4教科のテストの平均点が91点で、算数を除く3教科の平均点が90点であるとき、算数のテストは何点ですか。

[求め方]

答 _____ 点

4 妹は、午前9時に家を出て、分速80mの速さで歩いて、家から1600mの道のりがある駅に向かいました。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 妹が駅に着く時刻を求めなさい。

[求め方]

答 _____ 時 _____ 分

(2) 妹の忘れものに気づいた姉が、9時10分に家を出て、自転車で追いかけると、9時15分に妹に追いつきました。姉の自転車の速さは分速何mですか。

[求め方]

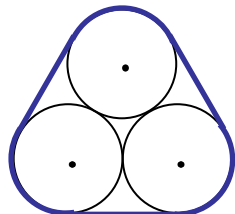
答 分速 _____ m

算数（その3）

受験番号		名前	
------	--	----	--

5 図のように、底面の半径が5 cmである円柱の棒3本をひもでたばねて結びます。ひもの長さを求めなさい。ただし、ひもはぴんと張った状態であり、結び目の部分のひもの長さは考えないものとします。

[求め方]



答 _____ cm

6 ある中学校の生徒全員が1人1票ずつ投票して、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人の中から生徒会長1人を決める選挙がありました。全生徒の3分の1がAさんに投票し、Aさんの得票数は96でした。またDさんの得票数はBさんの得票数の3分の2で、BさんとCさんの得票数は同じでした。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) この中学校の全体の生徒数は何人ですか。

[求め方]

答 _____ 人

(2) 生徒会長に選ばれたのは誰でしょうか。

答 _____ さん

(3) Bさん、Cさん、Dさんの得票数をそれぞれ求めなさい。

[求め方]

答 Bさん: _____ 票, Cさん: _____ 票, Dさん: _____ 票